

NETWORK

# にしがわ

12 2025  
No.837



P.2-3

(特集) フロントヤード改革

P.4

令和7年度西川町雪対策

P.5

10月・12月補正予算



## フロントヤード改革 役場をもっと身边に、もっと便利に



役場の玄関を親しみやすい空間に  
案内表示や休憩スペースを整え、  
誰でも気軽に利用できる場所に変えていきます

フロントヤード改革とは、役所や公共施設の「入り口まわり」をもっと使いやすく、わかりやすく、親しみやすい場所に変える取り組みです。

今までの役所は、入り口がわかりにくかったり、用事がないと入りづらい雰囲気がありました。そこで、この改革では、入り口やロビーを「町の顔」として整え、誰でも気軽に立ち寄れる空間にします。

例として、案内表示を大きく見やすくしたり、休憩できる椅子や情報コーナーを設置。地域のイベント情報や観光案内を置くことで、役所が「暮らしの情報ステーション」になるよう工夫します。また、窓口の配置をわかりやすくし、待ち時間を減らす仕組みも取り入れます。

この改革の目的は、「役所は難しい場所」というイメージをなくし、町の人が安心して相談できる場所にすることです。高齢の方でも迷わず利用できるよう、文字を大きくした案内や、職員による声かけも重視してまいります。

この事業は総務省の委託事業として実施しています。



▲プライバシーに配慮した相談スペース

## 案 内 版

役場内にタッチパネル式の案内板を設置しました。

この案内板は、各課の場所を案内するだけでなく、訪問の目的に応じて、どの課が担当しているかもお知らせします。さらに、担当課の所在地が庁舎のどこにあるか図で確認できます。

ぜひ「目的でさがす」ボタンを押して、便利な機能をご活用ください。



## 町民いこいスペース

町民いこいスペースに、新たに1人掛けのブースを3台、4人掛けの対面ブースを2台設置しました。

人目を気にせずご利用いただける環境ですので、ちょっとした打ち合わせや、一人で集中したいときに最適です。

どなたでも自由にお使いいただけるスペースですので、ぜひお気軽にご利用ください。

1月上旬  
開始予定

これまで紙で個人宛に郵送していた町からのお知らせを、お手元のスマートフォンへ直接お届けする「電子郵便・電子通知」のサービスの実証を開始します。

### ● デジタル郵便のメリット

- ・いつ・どこでもスマートフォンで通知を確認できる
- ・紛失・見落としの心配を軽減できる。
- ・郵送物の紙使用量の削減で環境にやさしい
- ・保管・検索が簡単で、必要な時にすぐ確認ができる
- ・案内・申請・結果等の行政手続きを自宅で完結できる

### ● 近い将来受け取れるデジタル郵便（例）

申請・手続き案内／審査結果・決定通知／期限が近いお知らせ／重要な通知／個別連絡／緊急連絡・安否確認等

### ● 対象者

マイナンバーカードとスマートフォンをお持ちの方

対象手続、利用方法はあらためてお知らせします。





# 令和7年度 西川町の雪対策



## ◆町道などの除雪 【お問合せ】建設水道課 建設係 0237-74-2116

### ● 除雪車の出動基準

新雪深が10cm以上になると判断される場合、また雪崩などで交通不能になった場合に除雪車が出動します。

### ● 早朝除雪の作業時間

おおむね午前8時をめどに1車線確保することを目指します。その後、公共施設などの除雪を行い、午前8時30分の作業完了を目指します。

### ● 除雪路線の延長

町道の除雪延長は91.2km（うち交換路線8km）に及びます。これは町道総延長（193.9km）の47.0%にあたります。このほか、国道34kmと県道35.1kmを除雪するため、除雪の総延長は160.3kmにも及びます。

### ● 除雪機械の稼働台数

除雪作業については全線委託作業とし、作業で稼働する除雪機械は、除雪ドーザ13台（町から委託業者への貸与6台、委託業者からの借り上げ7台）と、ロータリー除雪車2台、小型ロータリー除雪車1台の計16台を運用します。

### ● 除雪支援箇所の把握

本格的な除雪シーズンに向けて、各地区の代表者と委託業者による現場確認や現地打ち合わせを行い、より支障のない除雪作業ができるよう、調整を図っていきます。

### ● 集落道などの除雪対応の拡充

町が通常除雪をしない集落道などについては、区長または町内会長からの依頼により除雪作業を行う予定です。

## ◆高齢者世帯等の除雪支援 【お問合せ】健康福祉課 住宅支援係 0237-74-3243

### ● 高齢者世帯等除雪支援事業

自力で除雪ができない高齢者の除雪費用の軽減をはかり、冬期間でも安全で安心な自立した生活を確保するため、本町に住所を有し、居住実態のある世帯に対して除雪費用を支援します。

### ● 支援対象者

- 65歳以上の高齢者世帯
- 重度障害者（身体障害者手帳1・2級、医療手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかに該当）
- ひとり親と18歳未満の子（当該年度に18歳に到達する子を含む）



### ● 支援限度額（除雪費の1/2を支援します）

1世帯あたり1シーズン最大20万円を支援（除雪費40万円までの半額）

### ● 手続き方法

- ①除雪希望者は、業者や個人へ依頼する。
- ②除雪を依頼した業者や個人に対して、請求額の「半額」をお支払いして完了。残り半額については、除雪を行った業者・個人が保健センターまで請求書を提出し、後日町から支払います。

支援対象期間 ▶ 令和7年12月1日～令和8年3月31日

稼ぐ・つながる・育む・支え合う・持続するまちづくりを加速します！

## 令和7年度10月・12月補正予算の概要

**令** 和7年度一般会計補正予算（10月補正・12月補正）が議会で承認されました。10月補正予算では、9月の豪雨災害の復旧費用を計上しています。12月補正予算では、地域の見守り対策のため移動販売事業者に対する支援や空き家解体の補助金に関する予算などを盛り込んでいます。

**10月補正 5,500万円**

**12月補正 999万円**

**当初予算と合わせた予算規模は 92億8,972万円!!**

「支え合う！」町民だれもが安心して豊かな心で生活できる魅力的な西川町をつくる

### ○土木施設災害復旧事業 2,900万円【建設水道課】



9月の豪雨により被災した町道等の災害復旧事業

必要性	寛容性	経済効果	財源	広報	担い手・関係人口
<input type="radio"/>					

### ○農林業施設災害復旧事業 2,600万円【みどり共創課】



9月の豪雨により被災した農業施設や林道等の災害復旧事業

必要性	寛容性	経済効果	財源	広報	担い手・関係人口
<input type="radio"/>					

### ○見守り対策移動販売事業者 支援給付金 150万円【かせぐ課】



地域の高齢者の買い物支援と見守り活動を伴う、町内の移動販売事業を行う方に対して補助金を交付します。

必要性	寛容性	経済効果	財源	広報	担い手・関係人口
<input type="radio"/>					

### ○空き家対策事業に要する経費 150万円【総務課】



町民の安全安心な生活環境の確保および良好な景観保全を図るために、町内にある空き家の解体を行う方に対して補助金を交付します。

必要性	寛容性	経済効果	財源	広報	担い手・関係人口
<input type="radio"/>					

### 「その他」

### ○ハラスメント疑惑調査特別委員会 に要する経費 222万円【議会事務局】

5月に設置された「ハラスメント疑惑調査特別委員会」における調査に必要な経費を補正しました。





菅野大志の

## 「いどばた会議」

vol.41

まちづくりに関する活動や近況などを  
西川町長・菅野大志が綴ります。

# 今月の大ニュース!

『獣友会、除雪作業者の皆さま、町の安全のためにありがとうございます！』



▲町公式LINE

### 1. 町の安心を守る、獣友会・除雪オペレーターの皆様に感謝！

(1) 令和7年度は、31頭のクマを捕獲（12月2日時点）

令和7年度の捕獲頭数の31頭は、前年の13頭に比べて約2.4倍となりました。幸いにも現時点では町内での人的被害はありません！引き続きご注意下さい。なお、あいべ体育館のウォーキング利用は無料としております！

(2) 除雪事業者の皆さま、本当にありがとうございます。

長年除雪に携わっていただいた竹本 新一さん、工藤 広樹さん、長岡 大地さんに感謝状をお渡しました。

今年の町民アンケートでは、「町に住み続けたい理由」として「除雪体制の充実」が第3位でした。オペレーターの皆様は、深夜に起床

し午前2時頃から作業を開始、出動基準を満たさなくても午前4時の出動に控えるなど、3月まで長期間にわたり作業いただくことを感謝申し上げます。西川に住み続けられるのは、皆さまのおかげです！



▲除雪安全祈願祭での集合写真

### 2. 西川中3年生、「君たちは素晴らしい！町を動かす力があるよ！」

12月4日、西川中3年生の修学旅行の発表会があり感動しました。

- 「東京に行ってみて、空気のきれいさなど、逆に西川の良さを知った」
- 「町のことを学び、町や玉谷製麺所さんが関係する企業を見学し、町の政策が理解できた」

企業側からも「西川の中学生がきてくれた」と嬉しい声が届いています。このつながりは、企業のみなさんが、研修の場やご寄付先を選ぶ際の最大の広報となつたのだと感じています。

訪問企業：アイリスオーヤマ（株）、（株）日比谷花壇、東武トップツアーズ（株）、（株）ローヤルエンジニアリング、（株）クリエイターズネクスト

私が中学生の頃は、「行政」というと自分からは遠い世界のように感じていました。しかし、西川中の3年生のみなさんは私の頃とは違いますね。小学生から継続して地域について学び、町のことを真剣に考え、しっかり行動する力をもっています！関係企業をも動かす君たちの行動は、素晴らしい！ありがとうございます。



▲発表会の様子

### 3. 今年度の対話会は100回を超えた！ご参加ありがとうございます

10月16日の原区を皮切りに、12月8日の志津地区開催まで、全14地区で地域対話会を開催しました。約320名の町民の皆様にご参加いただき、要望への対応の感謝の声（国に要望していた水沢月山神社付近の堰堤工事、本道寺の豊ヶ沢砂防工事など）、身近な心配事、これから進めるべき政策など貴重なご意見を頂きました。

先日の富士河口湖町での町職員とアミューズとの研修や、ベストツーリズムビレッジのシンポジウムにお招きいただきました。ご評価いただいたのは「対話の深さ」と「解決する実行力」です。対話を通じて把握した課題は、しっかりとお話を伺えるので解像度が上がり、町民の声を優先して解決する職員の行動の積み重ねの賜物です。

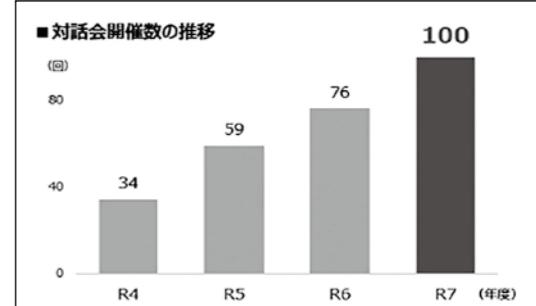


▲対話会で課題を深く理解できました

### 4. 新しい拠点をご活用頂き、ありがとうございます！

町民の楽しむ・スポーツ振興のため！、お子様・お孫様・西川ファンの長期滞在のため！、観光などの経済効果を取り込むため！建てられた新しい拠点は、予想を上回る皆さんにご利用いただいている。特に、カヌーセンターにはミニディーでもご利用いただいたり、TRASの夕方・休日は小中高校生の勉強・交流の場となっております。

- 間 沢 「TRAS（トラス）」 15,000人（令和6年度実績）
- 月山湖 「月山カヌーセンター」 15,000人（7月～12月）
- 水 沢 「にしかわ悠久館」 15,000人（6月～12月）
- 東 京 「田舎割烹にし川」 29,000人（開業1年の実績）

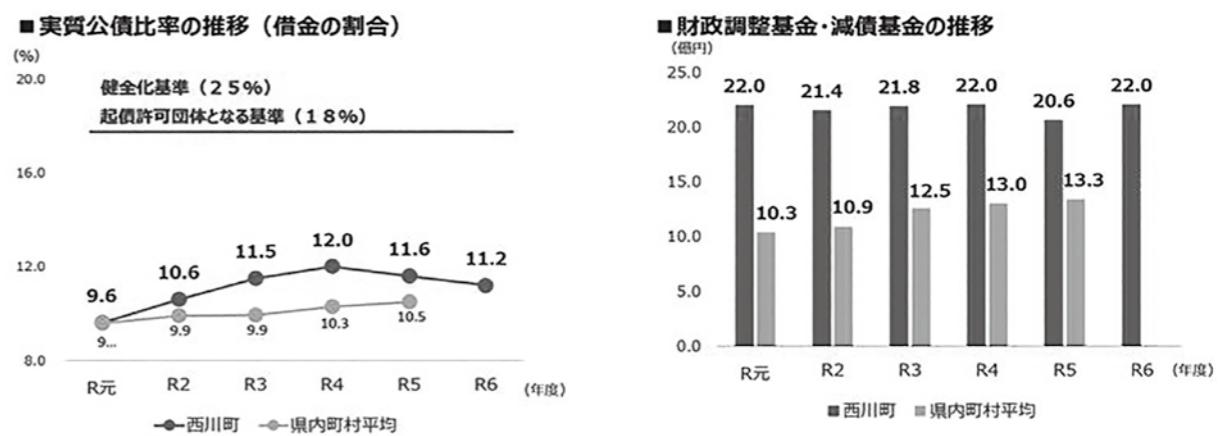
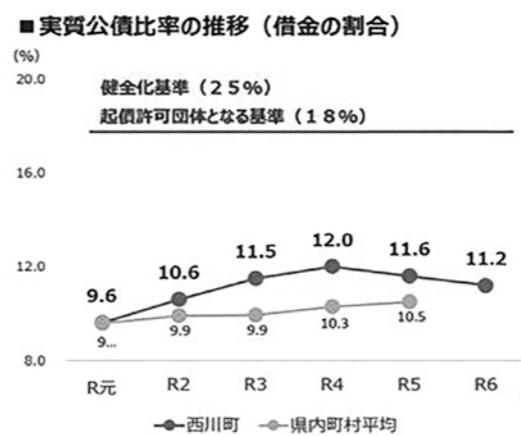


### 5. 西川町の財政の健全性と貯金は維持しています

町の「借金の割合」の「実質公債比率」（決算時）は、平成19年度に20.6%でしたが、現在は11.2%まで改善。今後も令和12年度に最大16.9%となる可能性がありますが、25%を超える予想はありません。

町の「貯金」にあたる「財政調整基金等」（決算時）は、令和6年度で21.4億円（前年比+0.8億円）を維持。わが町の貯金は、西村山郡4町で最も多く、県内町村平均額よりも多く積み立てを維持してまいります。

今後も、町民の皆さまの要望や必要なお困りごとの解決を実現しながら、国・県・ふるさと納税等により財源を確保し、健全な財政運営をお約束します。



# 地域おこし協力隊通信

## 言葉の壁を超えて西川町と台湾のつながり

パン チュアンタオ  
潘 傳濤さん（海味在住）

西川町民の皆様、リーホー（こんにちはの意味）。台湾出身、来日8年目、西川町の協力隊3年目の潘と申します。（藩ではなく潘です！）

仕事の関係で、これまで大阪府、香川県、愛知県と転々として、コロナが少し収まったという形でキャリアの転換をしようと思い、西川町にたどり着きました。

現在、株式会社月と山に所属しており、これまでの旅行の経験や知識を活かして、SNSで町内の観光など情報発信したり、町内のイベント（ONSENガストロノミーなど）添乗員としてアテンドしたり、台湾もしくは海外のお客様がご来町された時に通訳の対応などをしています。

協力隊の任期満了まで、残りわずかとなりましたが、変わらず西川町の魅力を続けて発信していきたいと考えております。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 図書館さ、いぐべ～。

【お問合せ】  
西川小学校図書館 ☎0237-85-0077

### ■ファンタイムライブラリー2025開催しました！

11月15日、ファンタイムライブラリーを開催しました。今年のテーマはSDGs。午前の部ではSDGsをテーマにしたサークルぴーつくさんの絵本の読み聞かせや、おはなしを楽しみました。工作は寒河江市のらっふるさんにご協力いただき、牛乳パックのリサイクル紙で素敵な箱を作りました。

午後の部では地域おこし協力隊の長谷川瑞輝さんをお迎えして「ダーニング」講座を開催。靴下や洋服の穴が開いたり薄くなったりしたところを繕う方法を「ダーニング」と言います。縦の糸と横の糸のコントラストを楽しみながら、参加者たちは充実した時間を過ごしました。



▲長谷川さんによるお手本

### 12月のおはなし会

- ・ドアがあいて…
- ・ぐりとぐらのおきゃくさま
- ・まどからおくりもの
- ・からすのおやこ
- ・サンタクロースってほんとにいるの？
- ・こうさく

12月20日土曜日 10時30分から



▲黙々と針を動かす参加者

西川町保健センター

## まちの保健室より

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです



### ■冬の入浴事故にご注意を

12~4月の寒い季節は特に、急な温度差により血圧が大きく変動し、一時的に脳に血液が回らなくなり、一過性の意識障害を起こす可能性があります。高齢者をはじめ、血圧が不安定な方、風呂場でめまいや立ちくらみを起こす方も注意が必要です。



### ＜安全に入浴するために＞

- ①入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ②湯温は41度以下、お湯につかる時間は10分以内にしましょう。
- ③浴槽からはゆっくりと手すりをつかって立ち上がりましょう。
- ④食後すぐ（30分～1時間以内）の入浴や、飲酒後の入浴は避けましょう。
- ⑤入浴前に同居者に一声かけましょう。一人暮らしの方は公衆浴場を利用するのもおすすめです。

【お問い合わせ】健康福祉課 地域包括支援センター係 ☎0237-74-4405

伊藤貢先生の

### 元気アップ！運動教室 PART328

今月のテーマ：「より良い筋力トレーニングのために」



山形済生病院  
健康増進センターめぐみ  
健康運動指導士 伊藤 貢

厚生労働省の「保健医療2035」では、病気を治したり命を守ったりする「キュア」から、慢性的な病気や体の不調があっても、生活の質を落とさず、体だけでなく心や社会生活も含めた健康を保つ「ケア中心」の考え方へ変わると示されています。

長く元気に暮らすには、病気を治すだけでなく、日頃から体を動かしたり生活リズムを整えたりして、健康を守ることが大切です。今の生活に健康づくりを取り入れることは、未来的自分だけでなく、地域や社会全体の健康を支える力にもなるとも言われています。

西川町では、毎週水曜日の14:00～15:30に「楽楽運動教室（奇数週）」と「ゆる楽運動教室（偶数週）」を開催しています。ご自身の体力レベルに合わせて、無理のない運動で健康づくりに取り組めます。冬場の定期的な運動として、ぜひ教室をご活用ください。

参考・引用資料  
保健医療2035: 厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hoken/hokeniryou2035/>  
保健医療2035提言書 [https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hokabunka/shakai-hoshou/hokeniryou2035/assets/file/healthcare2035\\_proposal\\_150609.pdf](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hokabunka/shakai-hoshou/hokeniryou2035/assets/file/healthcare2035_proposal_150609.pdf)

### ペットボトルを使って筋トレ！腕（力こぶ）を鍛えましょう！ (10回×2セット)



お腹に力を入れて  
しっかり立ちます

肘・手首を巻き込  
むように曲げる

椅子でも同様に  
行えます

●注意点  
体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。

ご紹介した運動についてご不明な点が  
ありましたら、毎週水曜日14時から開催  
している運動教室にてご確認ください。

# TOPICS

今月のまちの情報を届けします。

## 名水サミットinにしかわ開催決定！

令和8年9月25日に「名水サミットinにしかわ」を開催することが正式に決定しました。11月8日に神奈川県秦野市で開催された「名水サミットinはだの」に菅野町長が参加し、当日の会議において次回開催地として西川町が承認されました。

名水サミットは、環境省が選定した名水百選を有する自治体が集い、水環境の保全や地域の魅力を発信する全国規模のイベントです。

町の「月山山麓湧水群」は、ブナ林が400年の歳月をかけて育んだ清らかな水として知られ、先人たちが守り継いできた西川町の誇るべき宝です。

町全体で準備を進めてまいりますので、皆さまのご協力よろしくお願いいたします。



▲「名水サミット in にしかわ」PR動画の一部



▲「名水サミット in にしかわ」ロゴマーク



▲「名水サミット in にしかわ」町HPの二次元コード

## 熱戦で深まる親睦！壮年バレー大会を開催！

町内壮年層の親睦を深めてもらおうと11月30日に町民体育館で壮年バレー大会が開かれ、熱戦を繰り広げました。

今年は、町内4地区の公民館から4チーム約50名が参加。ラリーが続いたびに大きな声援が飛び交い、得点の瞬間に選手たちの笑顔が輝く大会となりました。

### 大会結果

- 優勝 間沢トンデモ速攻(間沢)
- 第2位 入間壮年隊(入間)
- 第3位 海味(海味)



▲優勝した間沢トンデモ速攻チームの皆さん

## 多世代の交流が輝く 家庭婦人バレー大会開催

12月7日町民体育館で家庭婦人バレー大会が開催され、町内5地区から7チーム約60名が参加しました。

6人制バレーのルールが変更になったことから新しい戦術の練習を1か月前から行うチームもあったようです。当日は各チームが日頃の練習の成果を発揮し、どの試合も最後まで目が離せない熱戦となりました。

優勝した吉川は昨年に引き続きの優勝で、2連覇を果たしました。

### 大会結果

- 優勝 吉川 E (吉川)
- 第2位 むちゅあい♡ (睦合)
- 第3位 海味キューティーズ (海味)



▲優勝した吉川Eチームの皆さん

## 山と秋のおいしい恵みを「いただきます！」

11月13日、西川町で採れた原木なめこをふんだんに入れた味噌汁が学校給食で提供されました。なめこは西川町きのこ等生産協議会から約20kg提供いただき、給食当日は日塔篤夫会長が小学校で、子供たちがなめこを食べる様子を視察しました。

感染症拡大防止の観点から一緒に給食を食べることは叶いませんでしたが、子供たちの「普通のなめこよりも大きくて、食感がいい！」と喜びながらなめこをほおばる姿や「また作って！」の声に、会長も「来年も頑張るやる気が出てきた」と喜んでいました。



▲なめこがおいしかったことを日塔会長に伝えました！



▲西川町で育った原木なめこ



▲給食で西川町産のなめこを食べます



▲なめこがふんだんに入ったお味噌汁です

## 音楽でつながる地域の輪 いきいき健幸コンサート・対話会

町のいきいき健幸活動補助金を活用した「いきいき健幸コンサート」が11月28日、西川交流センターあいべあホールを開催されました。

昨年に続き声楽家の松倉とし子さん、望さん親子により、約1時間にわたる歌唱が披露されました。アンコールを含めた全16曲で構成された演奏に、会場の皆さんには終始笑顔で聴き入りました。途中、会場の皆さんと松倉さんとの交流もあり、こころ温まるコンサートとなりました。

またコンサート後には、「いきいき健幸対話会」を開催し、昨年の要望であった、老人クラブで福祉バスを無料で使えることへの感謝のお言葉やミニディイにより外出の機会が増え助かっていることなどが意見として挙げられました。今回いただいたご意見も、今後の改善に向けて活かしてまいります。



▲息の合った素晴らしいステージでした

## 町ゆかりの詩人を偲ぶ 丸山薰記念館閉館式

11月17日に今年度の丸山薰記念館閉館式が執り行われました。期間中は、町内外から多くの皆さんにご来館いただき、町ゆかりの詩人・丸山薰の生涯や作品に触れていただく貴重な機会となりました。

記念館では、常設展示のほか、自然散策や総会などを通じて、丸山薰の文学に親しんでいただけるよう取り組んでいます。来館者の皆さんから温かいご感想や励ましのお言葉を多く頂戴し、関係者一同大きな励みとなりました。



▲閉館式での様子

# TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

## 10年ぶりの開通！大入間川橋が完成！

橋脚の沈下により、平成27年7月から通行不能となっていた町道月岡入間線の大入間川橋がこの度完成し、11月22日に入間区主催の開通式典が執り行われました。

当橋梁の架替事業は令和2年度に着手し、6年の歳月をかけてこのほど無事に完成しました。

開通式典では、竣工祝賀並びに安全祈願祭及び開通式が執り行われ、今後の交通安全並びに入間地区、本道寺月岡地区、小山地区の更なる発展に寄与する架け橋になるよう祈念しました。



▲完成した大入間川橋



▲開通式におけるテープカット



▲渡り初めを行う飯野さんご家族



▲架け替え前の大入間川橋

## 消防人として住民の安全・安心を守る押野一雄さんが藍綬褒章を受章

この度、令和7年秋の褒章で西川町消防団副団長の押野一雄さん（吉川）が「藍綬褒章」を受章されました。藍綬褒章は多年にわたり消防業務に従事するとともに、その功績が特に顕著であった消防団員に対し、天皇陛下から授与される大変栄誉ある章です。

押野さんは平成6年4月に西川町消防団に入団し、平成23年に本部付分団長に就任、令和5年には副団長に就任されました。消防団運営に限らず、団員の指導育成にもご尽力いただいております。



▲藍綬褒章受章を町長に報告

## 青山潤一さんが町に寄附

11月25日に青山潤一さん（寒河江市）が来庁され、「町の発展と復興のために役立ててほしい」と町に100万円のご寄附をいただきました。

青山さんは令和4年から毎年町にご寄附いただいている、今回は特に町内の子供たちの為に使っていただけると嬉しいと町長に話されました。誠にありがとうございます。



▲町長に寄附を手渡す青山さん

## 楽しく健康に「いきいき百歳体操」スタート！

11月20日、いきいきサロンさらぬま（間沢）でいきいき百歳体操がスタートし、地区を問わず多くの方が集いました。体操後はみんなで脳トレクイズを解きながらお茶のみし、百歳体操をきっかけに交流が広がりました。

いきいき百歳体操は、日常生活に必要な筋力アップを目的とした体操です。体力に合わせておもりを使い、椅子に座ってゆっくりと動くため、運動に不安のある方から元気な方まで一緒に行うことができます。また、みんなで一緒に取り組むことで、楽しく、そして継続してできるところも魅力です。

毎週木曜日13時30分からいきいきサロンさらぬままで開催中ですので、お気軽にお越しください。



▲いきいき百歳体操をする皆さん



▲いきいきサロンさらぬま代表黒田益幸さん



▲いきいき百歳体操の説明を聞く皆さん

## モンティディオ山形選手が来庁 今シーズンの応援に感謝

12月2日、モンティディオ山形の國分伸太郎選手とディサロ燐シルヴァーノ選手が町役場に表敬訪問されました。これはシーズン終了報告と応援への感謝を直接伝えるため、県内35市町村と山形県庁で行われたものです。

両選手は、0-60コミュニティや市町村応援デーで町民から応援をもらったことが力になったとお話しいただきました。



▲ディサロ選手（前列左）、國分選手（前列右）

## 郵便局でマイナンバーカードの電子証明書の更新等ができるようになりました！

12月1日より町内の郵便局4局において、マイナンバーカードの電子証明書の更新や暗証番号の初期化ができるようになりました。マイナ保険証の本格稼働により、マイナンバーカードの電子証明書の更新や暗証番号の適正化がより重要となっております。郵便局と役場が連携し、マイナンバーカードに関するサポート体制を強化して参りますので、皆様お気軽に立ち寄りください。



▲マイナカード更新委託業務開始式の様子

# TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

## デマンド型乗合タクシー×いきいきお茶のみ会コラボ企画

いきいきお茶のみ会（高齢者サロン）と連携し、デマンド型乗合タクシー「のってあべ」の特別無料コースを運行しました。

これは、「のってあべ」の無料体験を通じて新たな利用者を増やし、お互いの事業のさらなる利用促進を図ることを目的としたもので、今回初めての取り組みとなります。

以下、2団体とコラボ企画し、開催した様子を紹介します。

10月15日、公共交通の需要が見込まれる年金支給日に合わせて実施し、間沢・海味・睦合・吉川地区にお住まいの方6名に参加いただきました。

「のってあべ」で参加者自宅までお迎えし、年金受け取りのために各金融機関へ。

その後、「シブヤ アガラッシャイ」（海味）では、和やかな雰囲気の中でお買い物や昼食を楽しめました。



「サロンdeいりまる」（入間）の開催日である11月5日に、参加者自宅から会場（入間公民館）まで「のってあべ」を試乗いただきました。

サロンには14名が参加し、フレイル（加齢による心身の活力低下）チェックで自身の健康状態を確認し、軽スポーツをしながらフレイル予防について学びました。

参加者からは、「まだ一人で活動できるが、冬になると運転が心配。のってあべも検討してみたい」といった声が寄せられました。



## 東京・代官山でFABER月山が展示会を開催！

西川町の芸術家が集まった組織である「FABER（ファベル）月山」（代表：土田 健さん）が、11月28日から12月11日まで、東京にある代官山蔦屋（つたや）書店で展示会を開催しました。

代官山蔦屋書店は、著名な作家やアーティストがイベントを開催する東京の文化発信拠点であり、この場所でイベントを開催するアーティストには実力や知名度が求められます。FABER月山が代官山蔦屋書店で展示会を開催することができたのは、FABER月山の文化的・芸術的な価値や、作品の質の高さが認められたためです。

会場では、つる細工、陶芸、月山めのう、こけし、月山和紙などの工芸品が展示され、文化・アートに関心が高く芸術に慣れ親しんだ代官山の方々も、足を止めて作品を見物していました。



▲会場展示の様子

## 六十里越街道の魅力を再発見

11月21日、TRASを会場に出羽の古道 六十里越街道魅力発信フォーラムが開催され、町内外から約50名が参加しました。冒頭では、主催する出羽の古道 六十里越街道会議の志田靖彦会長が「フォーラムを契機に歴史ある街道を盛り上げていきましょう」とあいさつ。

午前中に行われたコミュニティフォーラムでは、和歌山大学 観光学部・大学院観光学研究科の加藤久美教授が基調講演を行い、海外の事例などを紹介しながら持続可能な観光地の在り方について考えました。

午後からは六十里越街道案内人クラブの布施範行さん（本道寺）の案内で六十里越街道探訪が行われました。布施さんが地域に伝わる伝承などを交えながら、湯殿参詣の登拝口として栄えた街道の歴史を紹介すると参加者は興味深く話に聞き入っていました。



▲当日の集合写真

## 佐藤辰作さんから絵の寄贈

11月1日、千葉県在住で西川町間沢出身の洋画家・佐藤辰作さんから町に油彩画を寄贈していただきました。寄贈された絵画は「障子ヶ岳と大井沢川」「早春の寒河江川」「月山の見える寒河江川」の3点で、大井沢から眺めた月山や朝日連峰などの雄大な風景が描かれています。

また、佐藤さんは町内にもアトリエを設けており、何度も現地を訪れて絵を完成させたとのことで、作品からは自然豊かな大井沢の空気感が伝わってきます。

佐藤さんは「もう一つのふるさとともにいえる大井沢に自分の絵が展示されることはとても感慨深い。匠館を訪れるきっかけになれば嬉しい」と話してくれました。寄贈された絵画は大井沢自然と匠館に展示されています。



▲早春の寒河江川



▲月山の見える寒河江川



▲佐藤辰作さん



▲障子ヶ岳と大井沢川

## 伝統を紡ぐ つる細工講習会

今年度で3回目の開催となる山葡萄つる細工の講習会が、11月1日～29日にかけて全5回行われました。この講習会は後継者育成を目的に農林水産省の山村活性化対策事業補助金を活用し、西川町山村活性化地域協議会が開催。今年度は技術の向上を図るために、前年度参加者のうち20名に参加いただき、実際にかごバックを作成しながら材料の加工や編み方などの技術を学びました。参加者は講師の指導を受けながら、真剣な表情で細やかな作業に取り組んでいました。



▲作成したかごバックと共に記念撮影

## 日本版BTV連携協議会第2回総会 in 北海道ニセコ町

11月12日、北海道ニセコ町で開催された「日本版BTV連携協議会総会・シンポジウム」に参加しました。菅野町長がパネラーを務めたシンポジウムでは、「地域の魅力を活かすための高付加価値の体験とは」をテーマに、月山の三山信仰を軸にした文化体験や、サウナ、NFTを活用した新しい価値創出について講演し、伝統と革新を融合させた観光の可能性を提案しました。

西川町は2024年、国連世界観光機関（UNWTO）による「ベストツーリズムビレッジ」に認定されました。これは、地域資源を守りながら観光振興を進める世界的なモデル地域として評価されたものであり、今後も町の魅力を国内外へ発信し、持続可能な観光を目指してまいります。



▲JNTO（日本政府観光局）と認定自治体首長のフォトセッション

## 町内出身学生がつなぐ 私は元気でやってますリレー

私は福島大学に進学しました。社会学を専攻することを主軸としつつ、他の学問も横断的に学ぶことができる事が、福島大学に進学した理由です。

最近は、社会における幸福の研究や社会教育について、ゼミや実習を通じて深く学んでいます。さらに大学での勉強に加えて、就活のことも本格的に考えなければならない時期に差し掛かってきました。

勉強に就活と、やらなければならないことが多い日々ですが、残り約1年半の大学生活を楽しみつつ、頑張っていきます！

### 【西川町へのメッセージ】

西川町に帰省するといつも温かい気持ちになります。これからも、あたかい心のふるさとであり続けてほしいです。



さとう ひかる  
**佐藤 光さん**  
西川町間沢下堀出身  
現在 福島県福島市在住

## ソフトバンク株式会社の皆さんと森林作業を体験！

10月23日に、ソフトバンク株式会社の社員5名が森林作業を体験するため西川町を訪れました。入間地区の森林で、生物多様性豊かな森づくりのため、広葉樹の赤ちゃん（稚樹）を守る作業を行いました。入間地区の方々との交流を通じて、森林保全の大切さを学んでいただきました。

ソフトバンク株式会社とは、令和6年4月に町の森林保護に関する課題解決を目的とした連携協定を締結しており、その一環として、多様な生き物が豊かに暮らす森づくりを進めています。この事業は来年度以降も継続予定で、森林の新しい管理体制を探る活動としても取り組んでいます。



▲ソフトバンク株式会社と入間地区の方



▲森林環境譲与税を活用して森林整備（間伐）が行われた森林

## 令和6年度 森林環境譲与税の活用

森林には、水をためる、災害をふせぐ、空気をきれいにする、生き物のすみかになるなど、大切な働きがあります。この森の力を守るために、国が集めた森林環境譲与税の一部が「森林環境譲与税」として町に配分されています。

森林環境譲与税は、令和元年度から町に配分されており、令和6年度からは森林環境譲与税の徴収も始まりました。

令和6年度は、西川町には3,288.6万円が配分され、森林整備や林道の維持修繕、西山杉の活用促進などに1,590.6万円を活用し、将来の森づくりのために1,698万円を基金積立しています。（森林環境譲与税の使途は西川町ホームページでも公表しています。）

## 皆さまの声をまちづくりに 地域対話会報告

12月8日をもって、令和7年度「町長との地域対話会」の全日程が終了しました。町内14地区で開催し、約320名の住民の皆さまにご参加いただき、さまざまなご意見やご要望を伺うことができました。

とくに今年は、町内での熊の出没をはじめとした有害鳥獣被害に関するご意見が多く寄せられました。また、冬を前にした除雪体制への不安や改善点、道路工事に関する要望など、生活に直結する声も数多くいただきました。

お寄せいただいたご意見は、今後のまちづくりや施策にしっかりと反映してまいります。ご参加・ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



▲吉川地区



▲綱取地区



▲間沢地区



▲小山地区

## 廃材からオリジナルの作品を作ります！

12月3日、12月4日に小学校で西山杉の廃材を活用した木工教室を行いました。当日は月山やまぢから研究会の渡辺敏博さん、設楽則夫さん、渋谷幸隆さんが講師として来校し、子供たちに工具の使い方や組み立て方の指導をしてくださいました。

3日は工具の使い方を練習し、大工さんと一緒に翌日の工作本番に向けての準備を行いました。4日には設計書を書いてきた子もあり、のこぎりや金づち、電動ドライバーなど様々な工具を駆使し、大工さんの知恵と技術も拝借しながら自分の「作りたいもの」をどんどん形にしてきました。

なお、この活動はやまがた緑環境税を活用しております。



▲金づちの両端は、形が若干違います

## 西川町から全国へ 玉谷製麺所の商品が優秀賞に輝く

12月8日、玉谷製麺所専務の玉谷貴子さんが来庁し、農林水産省が主催する「FOOD SHIFTセレクション」の「インバウンド消費拡大に寄与する国産農林水産物・加工食品等の名品」部門において、優秀賞を2点受賞したことを報告されました。受賞したのは、地域食材を生かした人気商品「さくらパスタ」と、香ばしい食感が特徴の「さくらさくっ」の2品。

玉谷専務は、「まさか2つもベスト100に選ばれるとは思わず、驚きと喜びでいっぱいです。山形県、そして西川町だからこそできたことだと思っています。これからも皆さまの食卓に美味しいひとときをお届けできるよう、尽力していきたいです」と語りました。



▲優秀賞受賞を町長に報告

# Congratulations!

～おめでとうございます～  
それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

## 稽古の成果を発揮 剣道スポ少が躍進

11月16日、河北町立谷地中部小学校において「西村山地区スポーツ交流大会 剣道競技」が開催されました。

女子団体の部には、栄光スポーツ少年団からA・Bの2チームが出場し、Aチームが準優勝、Bチームも第3位と、2チームそろって上位入賞を果たす結果となりました。選手たちは最後まで諦めることなく戦い抜き、応援に駆けつけた保護者から多くの称賛と拍手が送られ、子どもたちの成長やチームとしての結束、そして剣道に向き合う真摯な姿勢が感じられる貴重な機会となりました。



▲当日の集合写真

## おたすけ隊活動中！～町のお困り事を手伝えます～

### 【活動内容】

- 町民：荷物運び、薪運び、啓翁桜の切り出し、雪囲い、壁の塗装作業、溝掃除、畑作業、窓ふき、草刈り、根曲がり竹の手入れ、小屋片付け
- 地域活動：いってみっぺ手伝い
- 金子農園：雪囲い
- トラヤワイナリー：畑作業
- まちづくり団体：コンサート手伝い、野草茶の袋詰め
- 西川町総合開発（株）：コクワ剪定作業
- 西川町役場：スノーポール設置作業、雪囲い、除雪安全祈願祭手伝い、クマののぼり旗撤去

8期：11月6日～11月26日（7人）



▲雪囲いのお手伝い

**【お問い合わせ】**  
☎ 0237-74-2100 担当：堀・議合  
いそあい

## 郵便局ミニ対話会 ご意見・要望における回答

参加者 移住地域	ご意見等	回答
大井沢	夜間や冬期間に大井沢へ到着される方から、道路が暗いため不安を感じるとの声を伺っています。安全確保のため道路照明の設置について検討をお願いしたい。	防犯灯の設置・管理については、町内会にお願いしています。新設や更新に対して町から補助制度もございますので、設置を検討される際には総務課までご相談ください。 道路照明灯については、道路の区分（国道・県道・町道）により管理者が設置しています。町では交差点や橋梁部、見通しの悪い箇所へ設置おりますが、通行に不安を感じる箇所などの情報をご連絡いただければ、関係機関とも連携し、対応してまいります。 ☎ 0237-74-4404【総務課】 ☎ 0237-74-2116【建設水道課生活基盤強化室】
水沢 綱取	・地域内の空き地の雑草が伸びて荒れている。所有者に管理を依頼しても対応がなく、雑草が伸びてイノシシや虫が寄っている。町からも管理の依頼をしてほしい。 ・町内の空き家が今後さらに増えることが心配である。雪で倒壊した家屋もあり、町として倒壊の程度や所有者を把握しているのか。 ・高齢者の一人暮らしや二人暮らしが増え、空き家も増えている。倒壊している空き家もあり、今後が心配だ。	令和7年2月末に冬期間の空き家全件調査を実施し、大雪で倒壊等（一部倒壊を含む）が発生した空き家を6軒把握し、所有者へ適正管理を依頼しています。今年度も全件調査を実施し、再度空き家情報を整理するとともに、固定資産税の課税通知の際に所有者へ適正管理を求めるなど広報に努め、対策を強化します。 また、西川町では空き家の解体に対する補助もあり、令和7年度11月現在において10件の解体にご活用いただいております。 ☎ 0237-74-4404【総務課】

**【お問い合わせ】つなぐ課町民つなぐ係 ☎ 0237-74-2112**

にしかわ保育園  
**れいわいひろば**

**保育の理念**  
★子どもに愛と生きる力を  
★雪のようにきらきら輝く子 ★太陽のようにつよくたくましい子  
★緑のようにやさしくあたかい子

**保育目標**  
★しっかり見つめること ★ぎゅっとハグすること  
★自分の興味を満喫させてあそぶこと ★思いっきりカラダを動かすこと  
★大人みんなで精一杯愛すること ★大人も育つこと

## 保育園コーナー

### もしもの時に備えます！(不審者訓練・起震車体験)

10月9日、お巡りさんとスクールセンターの方が来園して、不審者訓練を行いました。子ども達は、不審者に見つからないように、そっと静かにかくれんぼ。不安で泣き出す子もいましたが、先生方が励ましながら、無事に身を守ることができました。

自分の命を守るために訓練は、大切です。

11月20日、地震の揺れを体験する起震車がやってきました。年長さんと年中さんが体験し、グラグラ揺れる中、テーブルやいすの下にもぐって命を守る体験ができました。

専門機関皆様の協力があって、もしもの時に備えての訓練や体験ができます。貴重な時間をありがとうございます。



▲かっこよく「敬礼！」



▲あたまをまもります！



▲おじいちゃんおばあちゃんと工作！

## ぽつかぽかコーナー

### ちいさなフラワー教室

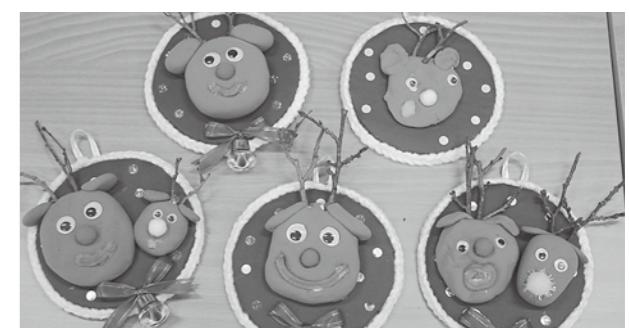
11月14日、フラワーアレンジメント教室を行いました。親子でお花に触れながら、優しい時間が流れました。



▲想いをこめてアレンジしました

### つくるべえの日

11月のつくるべえの日では、紙粘土を使って、こねたり丸めたりしながら個性あふれるトナカイが完成しました。



▲クリスマスの準備はバッチリ！



# 香り立つ手打ちの味 吉川そばまつり開催

11月16日、かわどい亭にて「吉川そばまつり」が開催されました。吉川蕎麦愛好会の皆さんのが主催となり、丹精込めた手打ち蕎麦を来場者へ振る舞いました。会場には早い時間から多くの方が訪れ、店前には長い待ち列ができるほどの大盛況。

来場者からは「蕎麦の食べ放題があると聞いて酒田から来た。思う存分満喫できた。」といった声も寄せられ、地域の魅力を味わいに遠方から足を運ぶ姿が見られました。

湯気立つそばの香りと、温かな交流に包まれた本イベントは、食文化を改めて発信する機会となりました。



▲出来立て蕎麦を堪能する来場者

## 今月の表紙



今月号の表紙は、にしかわ保育園除雪機体験での一枚。大きくて高い除雪機に乗って笑顔いっぱいの子どもたち。今年も西川町の除雪をよろしくお願ひします！



## e-sports JAM NISHIKAWA 2026 開催決定！

**【開催日時】1月18日(日曜日)  
11時00分～16時00分**

**【会場】にしかわイノベーションハブTRAS**

### 【開催タイトル】

- ◆太鼓の達人
- ◆ぷよぷよテトリス2
- ◆STREET FIGHTER 6  
(一般の部・小中学生の部)

応募フォームはこちらから→



### 【応募締め切り】1月18日

※定員に達し次第募集を締め切ります。  
詳しくは応募フォームをご確認ください。



## 編集雑記

ついに雪が降りましたね。西川町に来て初めての冬にドキドキしています。

実家で飼っている柴犬は雪に大はしゃぎ、しかし屋根から雪が落ちる音にビクビクしている模様。

さて12月はクリスマス、大掃除、年越しとやることが目白押しですね。皆さんも体調にお気をつけてお過ごしください。



## 今月の西川景色

吉川そばまつりにて蕎麦をふるまうかわどい亭の皆さん



12/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,151人 女 2,243人 計 4,394人 世帯数 1,778  
( )は前月比 (-10) (-3) (-13) (-2)

NETWORDにしかわ(837号)  
令和7年12月15日発行

□編集発行／山形県西川町  
〒990-0792 西川町大字海味510 ☎0237-74-2111

□印刷所／寒河江印刷(株)  
寒河江市中央工業団地



この広報紙は再生紙を使用しております。